

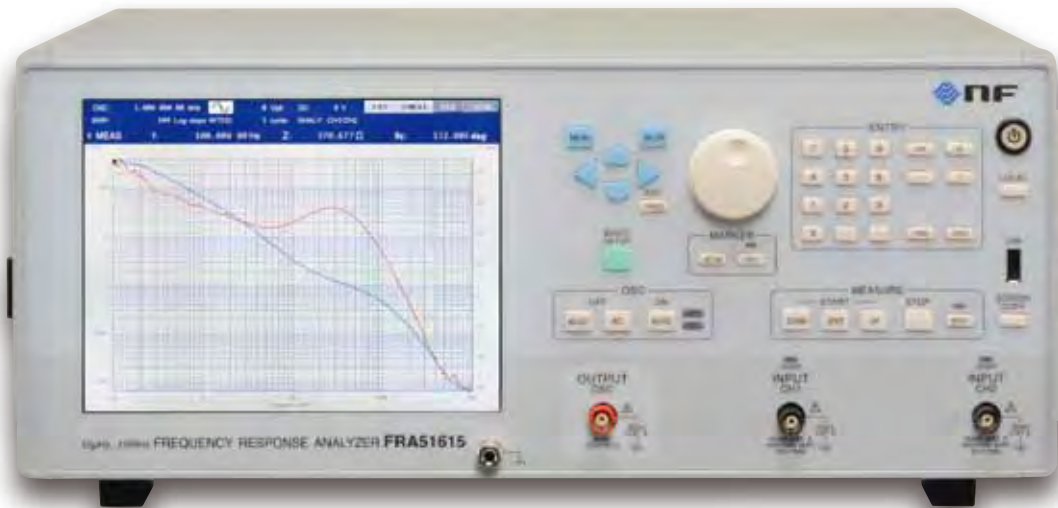
こんどのFRAは、タダモノではない。

# 周波数特性分析器

# FRA51615

Frequency Response Analyzer

NEW



各種周波数特性測定用途にあわせて、  
性能・機能・操作性を大幅に向上！

インバータ・ワイヤレス給電などのパワーエレクトロニクスから  
サーボ制御、電子部品・電池の評価、先端バイオ研究まで

Impedance

Inverter

Wireless Charging

Piezo

Inductor



PFC

Gain-Phase

Servo

Capacitor

EV

Bio

Battery

- ループ特性 PSRR
- サーボ特性 PLL 応答特性
- 伝達特性 振動伝達特性
- インピーダンス 電気化学インピーダンス (EIS)
- アドミタンス

# 周波数特性を高精度に測定するなら、

# やっぱり

# エヌエフのFRA。

電子回路、電子部品・材料からメカトロニクス・電気化学まで、幅広い分野の周波数特性測定をカバー。各分野で必要な性能・機能を装備することで、再現性の高い測定データを提供し、測定作業の効率化を推進。FRA51615は、当社のFRAをお使いいただいているお客様のご要望を取り入れ、細部にわたって使いやすさを追求したエヌエフFRAの最新作です。



- タッチパネル 直感的な操作
- 大画面 8.4 inch SVGA
- 軽量 従来モデル 12kg → 8.5kg

※従来モデル FRA5097 と比較

基本性能 UP!!

- 低周波域拡張 ※ 0.1mHz ~ 15 MHz  
10 μHz ~ 15 MHz
- 測定速度大幅アップ  
0.5 ms/point
- 基本精度向上 ※ 利得 ±0.05 dB, 位相 ±0.3°  
利得 ±0.01 dB, 位相 ±0.06°
- アイソレーション / 最大入力電圧 ※ 250 Vrms / ±350 Vpk  
600 V CAT II / 300 V CAT III
- 最大測定電圧 ※ 250 Vrms  
600 Vrms

新機能 満載!!

- シーケンス測定
- マーカサーチ機能
- 群遅延測定
- 周波数変化時位相制御
- ロード補正
- ポート延長機能
- 電位勾配除去機能
- 外部基準クロック ほか

FRAとは?

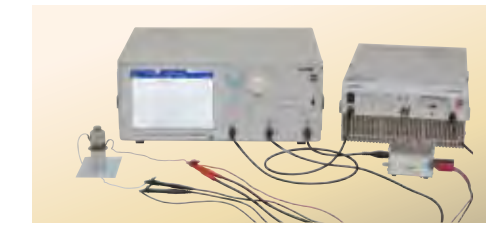
周波数特性分析器 (Frequency Response Analyzer : FRA) は、正弦波のスイープ信号を被測定物に与え、その周波数応答 (利得・位相) を、ノイズ除去特性に優れたデジタルフーリエ演算方式により高精度に測定する装置です。

入力レンジを最適化するオートレンジング機能とフローティングされた入出力回路を備え、入力信号レベルや被測定対象のGND電位を気にすることなく、ダイナミックに変化する周波数応答を高精度に測定できます。

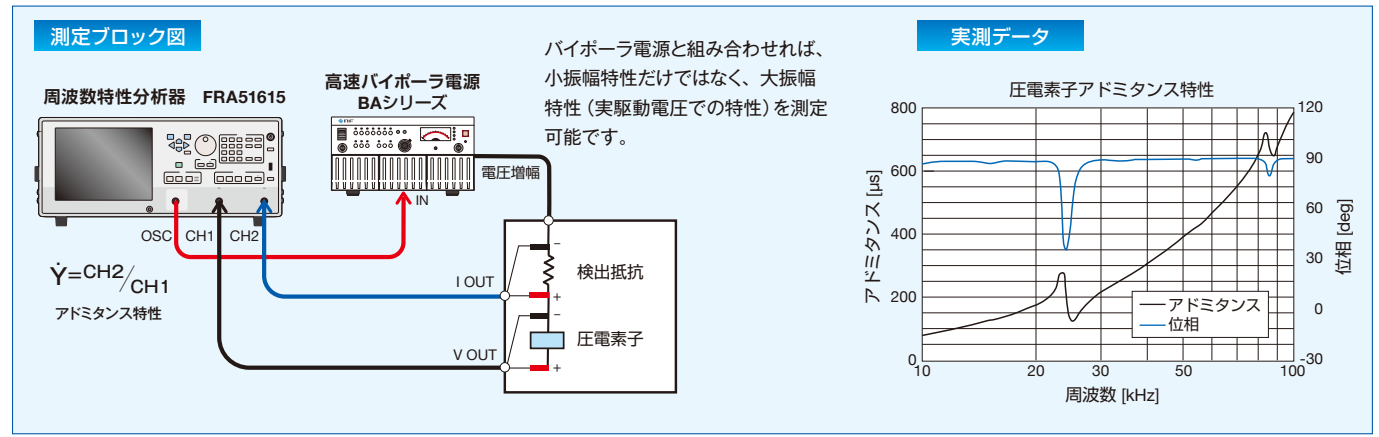
## インピーダンス測定

### 圧電素子の共振特性測定

圧電アクチュエータ等に使用する圧電素子の電氣的共振特性を高精度に測定できます。FRA51615はFFTアナライザなどと異なり、特定の周波数範囲の周波数分解能を細かくでき、高い位相精度を持っているので、共振点付近の特性を詳細に知ることができます。

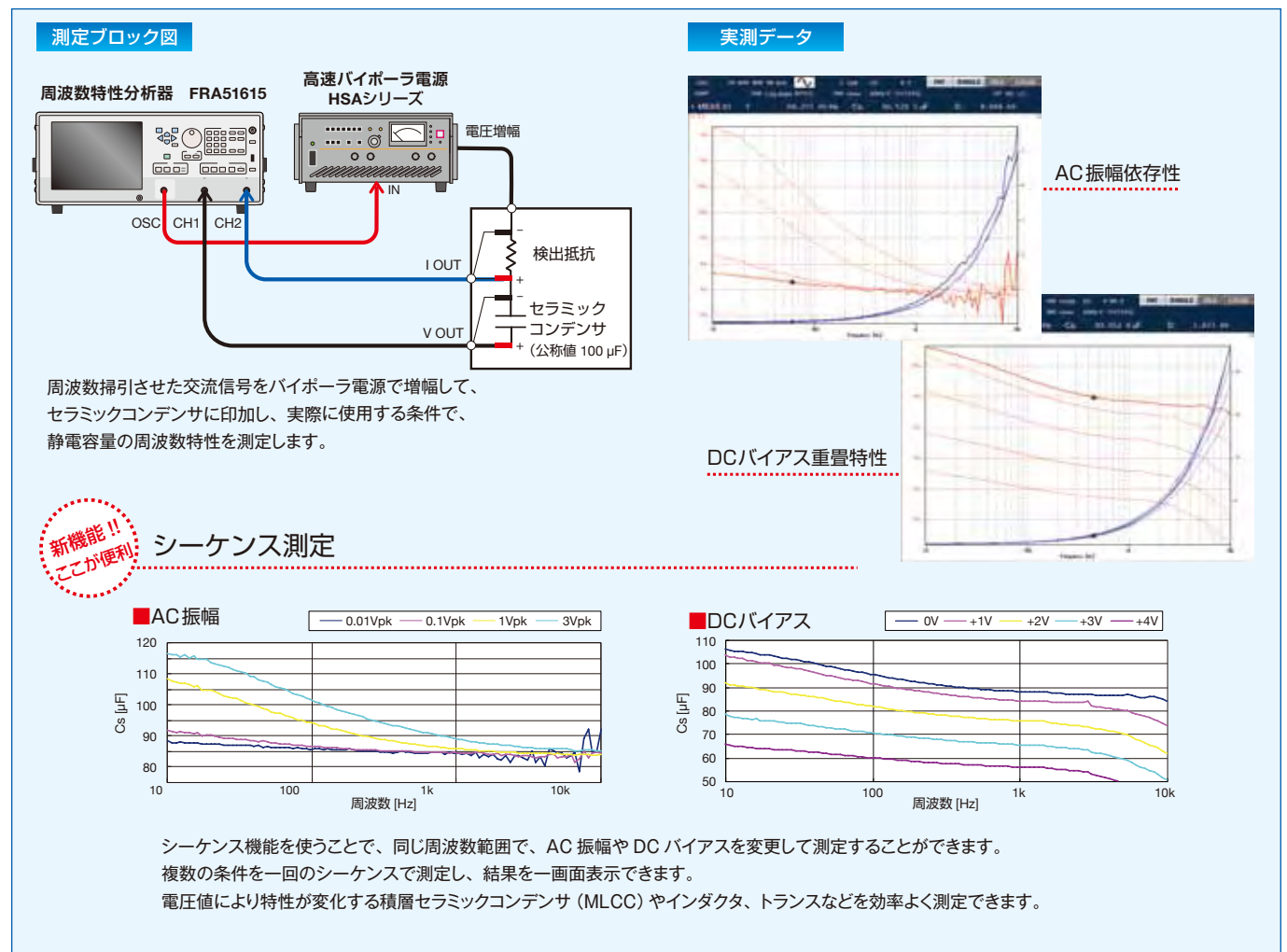


ランジュバン型圧電素子の共振特性測定



### 電圧を印加した積層セラミックコンデンサの特性測定

フィルムコンデンサや電解コンデンサからの置き換えが進む積層セラミックコンデンサは、電圧値や周波数帯域により静電容量が変化するため、実際に使用される条件で静電容量を測定し、最適な容量を確認することが重要です。



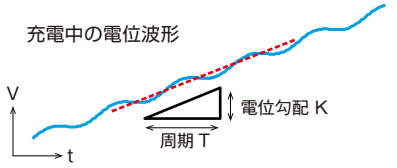


## 電池の内部インピーダンス測定

FRAは直流の影響を受けにくいので、リチウムイオン電池や燃料電池など各種電池の任意の出力電流で詳細なインピーダンス特性を測定できます。FRA51615は10 μHzの超低周波の測定にも対応し、電池の測定精度向上を考慮した各種新機能を搭載しています。

**新機能!!**  
ここが便利

### 電位勾配除去機能



測定信号が正弦波とランプ波（電位変動波形）で構成されていると仮定して、正弦波とランプ波各々の大きさと位相を個別に検出する分析方法。正弦波の振幅と位相のみを測定結果として採用するので電位変動を大幅に低減します。

**新機能!!**  
ここが便利

### 周波数変化時位相制御

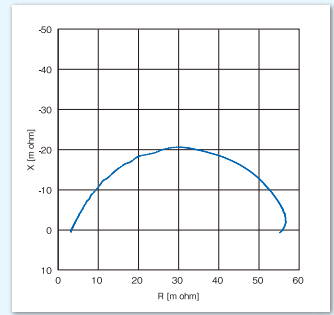
位相0°で周波数を変更する機能。測定前後で電池の充放電状態が変化しません。充放電状態を変化させない機能として、従来機にも搭載の位相0°で発振を停止する機能も有用です。

**新機能!!**  
ここが便利

### 測定時のみ発振器オン

測定終了後、自動的に出力をオフする機能。信号印加による電池への負担を最小限に抑えることができます。

**実測データ**  
燃料電池の交流インピーダンス測定



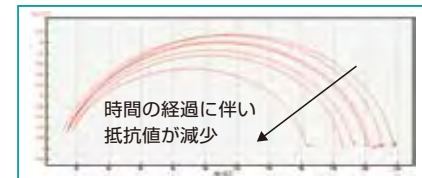
※測定用の各種周辺機器については、お問い合わせください。

## 広がる！インピーダンス測定アプリケーション

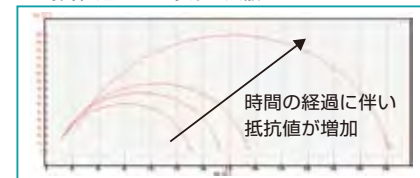
新材料開発や医薬品・バイオなどのライフサイエンス分野の分析・評価において、従来からの手法に加えて、電氣的インピーダンスの測定ニーズがあります。当社では、電子計測器を使った経験のない場合でも、装置や周辺機器の提案から測定サポートまで対応しております。

### ■植物の交流インピーダンス測定例（コールコールプロット）

#### ▼新鮮な状態からの変化



#### ▼時間経過のため水分が蒸散



- 電気二重層コンデンサのESR測定
- インダクタの直流重畳特性測定
- 液体のインピーダンス測定
- 溶液・溶剤の特性解析
- 絶縁油の劣化解析
- 植物の活性評価
- 腐食・塗膜
- 生体信号解析 など

まずは、お問い合わせください。

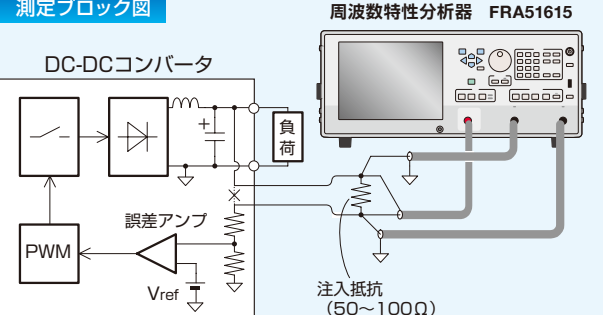
なんでも  
**計測HOTLINE**  
☎ 0120-545838

## ゲイン・フェーズ測定

### 電源回路のループ・ゲイン測定


実駆動状態でDC-DCコンバータのループ・ゲイン特性を測定し、位相余裕・利得余裕から回路の安定性を定量的に評価します。600 V CATII / 300 V CATIIIにより、非絶縁型PFC回路を商用電源に接続した測定にも対応可能です。

**測定ブロック図**



■測定条件  
 負荷：スイッチング周波数1MHzのDC-DCコンバータ  
 測定条件：スイープ周波数100Hz～1MHz、注入抵抗51Ω

**実測データ**



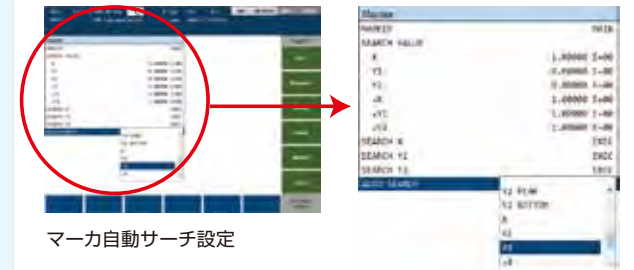
■測定結果

- 位相余裕・利得余裕  
余裕が大きいほど、リングングや発振が抑えられます。
- クロスオーバー周波数  
負荷変動時の応答性の目安になります。

**新機能!!**  
ここが便利

### マーカ自動サーチ機能

スイープ終了時に、Valueで「0 dB」を自動検索すると位相余裕、「0°」を自動検索すると利得余裕を検出し、値を容易に読み取ることが可能です。

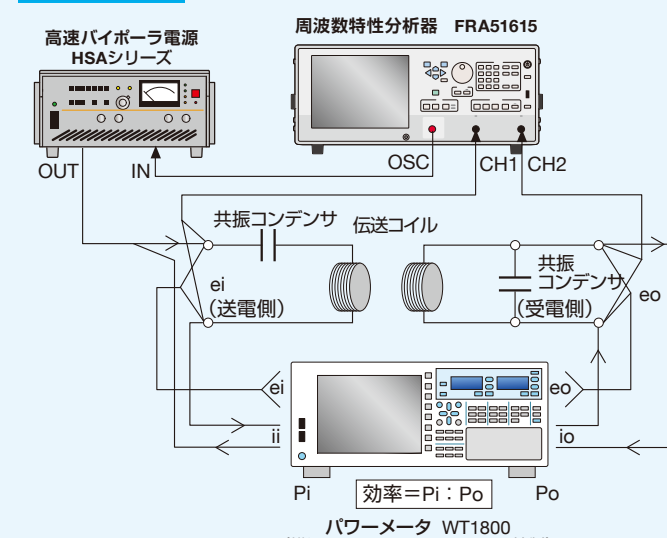


マーカ自動サーチ設定

## ワイヤレス給電伝送効率測定

EV充電器などのワイヤレス給電は「磁気共鳴方式」が主流で、基礎研究から実証実験、実用化へと進んでいます。磁気共鳴方式の実用上の周波数は数kHzから十数MHzであり、共振周波数特性の評価には、伝達特性測定が必要です。

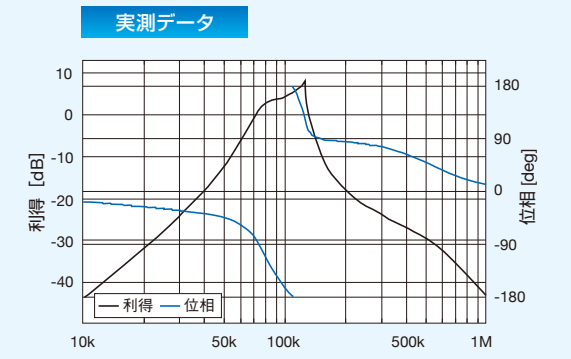
**測定ブロック図**



効率=Pi : Po  
パワーメータ WT1800 (横河メータ&インスツルメンツ社製)

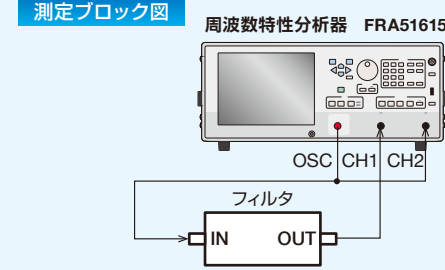
バイポーラ電源と組み合わせて、共振回路に電力を印加した実際の使用状態で共振周波数特性を測定します。移動中のEVに給電することを想定し、伝送位置・距離・角度の違いに対する共振周波数の変化から、伝送効率への影響を確認します。また、伝送コイルなどの構成部品のインピーダンス特性の評価も可能です。

**実測データ**



## フィルタの入出力特性測定

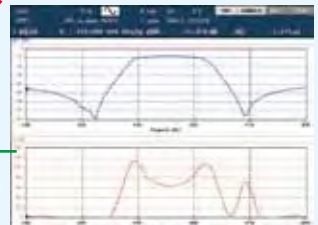
**測定ブロック図**



**新機能!!**  
ここが便利

### 群遅延機能

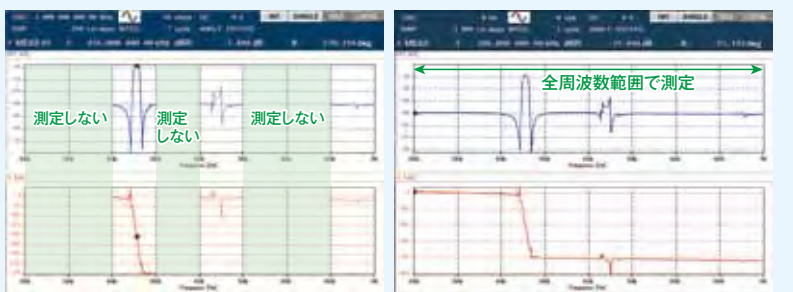
波形の再現性評価に用いられる群遅延 (GD : Group Delay, 入力間の位相を角周波数で微分) を表示できます。



**新機能!!**  
ここが便利

### シーケンス測定

実測データ  
通信用フィルタの通過帯域測定例

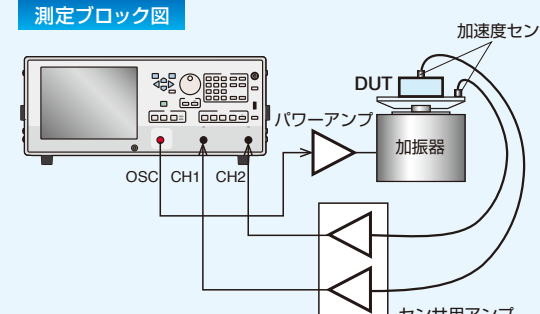


シーケンスあり (必要な周波数範囲のみ測定)      シーケンスなし

- 最大20通り  
各スイープで、AC振幅・DCバイアス・積分・周波数範囲などの測定条件を任意に設定可能。最大20通りの設定を変更しながら、1回の測定で結果が得られ、一画面に表示
- 測定時間短縮  
フィルタの通過帯域や圧電振動子や水晶振動子の共振点など、特定の周波数領域を測定したい場合などは、シーケンス機能により測定時間の短縮が可能
- 自動高密度スイープ  
共振点付近だけ周波数密度を自動的に増やして、高精度に測定することも可能

## 振動解析

**測定ブロック図**



**新機能!!**  
ここが便利

### 微分・積分演算機能

測定データの時間領域における微分/二階微分/積分/二重積分を行う機能。加速度センサやレーザドップラ振動計からの信号を演算し、変位/速度/加速度に変換して表示します。

発振器出力の信号を増幅し、加振器を振動させます。振幅圧縮機能を使えば、周波数に関わらず一定加速度で加振することが可能です。微分・積分機能により、スイープしながら、結果を演算・表示します。





周波数特性分析器 FRA51615

これが、こんどのFRA。

## FRA51615

多様な測定シーンを考慮した新設計

### 高精度な測定を実現する信頼のスペック&機能

#### 測定周波数 10 μHz ~ 15 MHz

10 μHzの低周波から15 MHzをカバー。分解能も10 μHzに向上しています。電気化学インピーダンス測定に必要な超低周波に対応しています。

#### 基本精度 利得 ±0.01 dB, 位相 ±0.06°

デジタルフーリエ演算方式と自己校正機能により、常に高い精度で測定します。従来モデルに比べ、利得・位相ともに精度が向上しています。 ※精度は測定条件により異なります。

#### アイソレーション 600 V CAT II / 300 V CAT III

発振器出力 (OSC) と2つの分析入力 (CH1/ CH2) は、筐体および端子間相互にアイソレーションされており、絶縁定格は600V CAT II または 300V CAT III です。高電圧ノイズが高まるインバータや PFC 回路など、電源回路のループ・ゲイン測定をはじめ、その応用範囲はますます広がります。

#### 自動高密度スイープ

最大 20,000 点の高密度測定に対応し、測定データが急変する区間だけ、自動的に周波数密度を上げて測定します。

#### 積分機能

ノイズの影響を取り除いて測定するためのデータ積分機能です。測定を繰り返す期間は、サイクル数または時間で設定します。

#### 遅延機能

周波数変更時の過渡応答による誤差を軽減するため、測定開始までの時間を遅延する機能。スイープまたはスポット測定開始時のみ、測定開始までの時間を遅延する機能も追加になりました。

#### インタフェース

GPIO, USB, LAN, RS-232, VGA

GPIO, USB, LAN, RS-232 インタフェースを標準装備。自動計測システムの構築が可能です。

また、背面に外部モニターとして、VGAコネクタを装備しました。その他の出力コネクタ等は、右の背面写真の説明をご覧ください。

#### 測定速度 0.5 ms/point

スイープ速度は、最速 0.5 ms/point と高速です。製造ラインにおけるタクトタイム短縮に貢献できます。 ※従来モデル (FRA5097) では、約 20 ms/point

#### ダイナミックレンジ 140 dB

高分解能 A/D 変換器と測定周波数ポイントごとに測定レンジを最適化するオートレンジ機能により、広いダイナミックレンジを確保。測定中の変化に対しても、確実に測定することができます。

#### オートレンジ

入力信号のレベルに追従し、最適なレンジに設定しながら測定します。レンジを超えるノイズを検出したら、大きなレンジに自動設定して再測定。測定データは、レンジ飽和を起こしていないデータとなります。レンジ変化に伴う測定値の不連続を解消するために、固定レンジを選択することも可能です。

#### 振幅圧縮機能

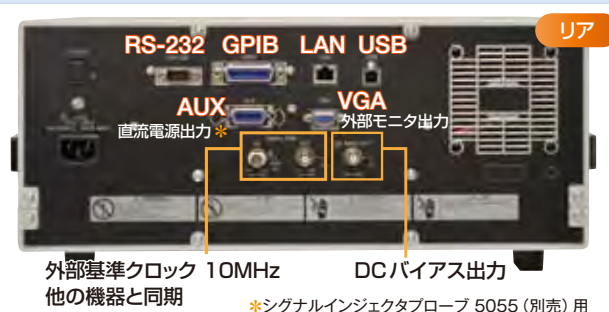
被測定系の飽和や破損を防ぐため、被測定系の振幅レベルが一定になるよう発振器のレベルを制御します。

#### 自動積分機能

ノイズによる測定変動分が、設定した値以下になるまで積分を繰り返す機能です。

#### 微分・積分演算機能

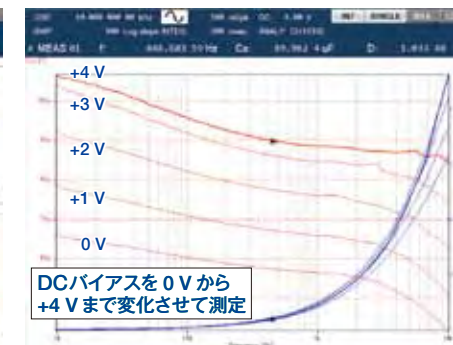
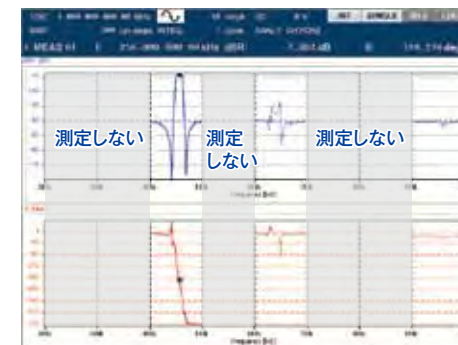
測定データの時間領域における微分/二階微分/積分/二重積分を行う機能。加速度センサやレーザドップラ振動計からの信号をスイープしながら演算し、変位/速度/加速度に変換して表示。



### 測定作業の効率アップ! 便利な新機能満載!

#### シーケンス測定 新

設定メモリの内容を番号順に読み出してスイープ測定を行う機能です。1 スイープで、周波数範囲を最大 20 分割して、各々の周波数範囲で異なる振幅、積分設定などで測定できます。フィルタや圧電素子など、特定の周波数範囲を高密度に測定したい場合、積層セラミックコンデンサ (MLCC)、インダクタやトランスなどのバイアス依存性のある部品の測定などに便利です。



#### マーカサーチ機能 新

マーカを移動させて値を読み取るほか、設定した条件に合致する点を自動的にサーチすることができます。



#### 周波数変化時位相制御 新

発振器出力信号の位相が 0° のタイミングで周波数を変更します。これにより、周波数スイープ開始から終了の間の直流分がゼロになりますので、電池のインピーダンス測定において、充放電状態が変化しません。また、ハイパスフィルタ (HPF) の周波数特性測定においては、直流による過渡応答が生じません。

#### 誤差補正

オープン/ショート/ロード補正, ポート延長機能, 電位勾配除去機能, イコライズ

##### ●オープン補正/ショート補正

開放時の浮遊アドミタンス、短絡時の残留インピーダンスによる測定誤差を補正します。(インピーダンス測定)

##### ●ロード補正 新

既知の値を持つ試料を標準インピーダンスとして誤差を補正します。(インピーダンス測定)

##### ●ポート延長機能 新

長いケーブルを使用したときの伝搬遅延時間による誤差を補正します。(インピーダンス測定)

##### ●電位勾配除去機能 新

測定信号が正弦波とランプ波 (電位変動波形) で構成されていると仮定して、正弦波とランプ波の各々の大きさと位相を個別に検出。電池などの充放電に伴う電位変化の影響を取り除きます。(インピーダンス測定)

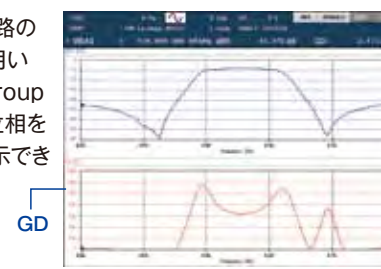
##### ●イコライズ

外部に接続したセンサやケーブルなどの測定系の周波数特性をあらかじめ測定し、測定系の誤差分を補正します。(ゲイン・フェーズ測定)

\*各々 ( ) 内の測定で用いる補正機能です。

#### 群遅延測定 新

フィルタなどの電子回路の波形の再現性評価に用いられる群遅延 (GD: Group Delay)、入出力間の位相を角周波数で微分) を表示できます。



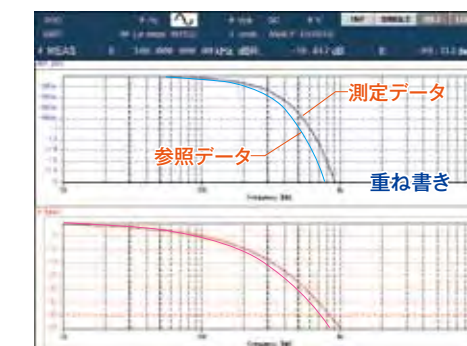
#### グラフ表示

##### ●SPLIT 表示 新

1 画面 1 グラフの "SINGLE" と上下にグラフを 2 つ表示する "SPLIT" を選択可能です。

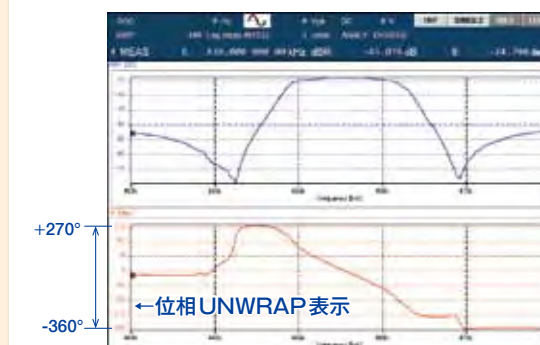
##### ●データトレース 新

参照データトレース (REF) と測定データトレース (MEAS) を重ね書き可能です。



##### ●位相 UNWRAP 表示 新

0°, 180°, 360° で折り返さず位相を連続表示します。±360° を超える位相の表示も可能です。





仕様

▼ 発振部

コネクタ	絶縁型 BNC コネクタ (正面パネル, OSC)
周波数	10 μHz ~ 15 MHz 設定分解能: 10 μHz 精度: ±10 ppm (内部基準クロック使用時)
AC 振幅	0 ~ 10 Vpk 設定分解能: 3桁または 0.01 mVpk のいずれか大きい方
DC バイアス	-10 V ~ +10 V 設定分解能: 10 mV
出力インピーダンス	50 Ω ±2% (1 kHz)
最大出力 (AC+DC)	電圧 ±10 V 電流 ±100 mA
スイープ	スイープ密度: 3 ~ 20,000 steps/sweep スイープ種類: リニアまたはログ選択可 スイープ時間: 最速 0.5 ms (周波数 1 点あたり)
出力制御	QUICK: 瞬時に設定電圧または 0 V にする SLOW: 約 10 秒で徐々に増減し、設定電圧または 0 V にする 0° 位相での出力オフ/周波数変更機能 AC, DC 同時オン/オフおよび AC のみ単独にオフ可 測定開始/終了時に自動オン/オフ可
アイソレーション	600 V CATII / 300 V CATIII (BNC グラウンド 対 筐体)
対筐体容量	150 pF 以下
DC BIAS OUT (背面)	DC バイアス出力先を背面パネルの DC BIAS OUT 設定時に出力 コネクタ: BNC コネクタ 設定範囲: -10 V ~ 10 V 出力抵抗: 600 Ω ±2%

▼ 分析部入力

入力チャンネル数	2 チャンネル (CH1, CH2)
入力コネクタ	絶縁型 BNC コネクタ
入力インピーダンス	1 MΩ ±2%、並列に 20 pF ±5 pF
測定レンジ	10 レンジ (30 m / 100 m / 300 m / 1 / 3 / 10 / 30 / 100 / 300 / 600 Vrms) およびオート CH1, CH2 独立設定
最大入力電圧	600 V CATII / 300 V CATIII
最大測定電圧	600 Vrms: 付属ケーブル使用時
オーバー検出設定	0 ~ 600 Vrms (オーバランプ点灯、ブザー警告、スイープ測定中止)
ダイナミックレンジ	140 dB (10 Hz ~ 1 MHz) 80 dB (1 MHz ~ 15 MHz)
IMRR	アイソレーションモード除去比 120 dB 以上 (DC ~ 60 Hz)
アイソレーション	600 V CATII / 300 V CATIII BNC グラウンド 対 筐体
対筐体容量	200 pF 以下

▼ 演算処理機能

測定モード	UP SWEEP: スイープ測定 (周波数昇順) DOWN SWEEP: スイープ測定 (周波数降順) SPOT: 現在の周波数で測定 (非スイープ) REPEAT: 固定周波数で繰り返し測定 SINGLE: 固定周波数で 1 回測定
積分機能	ノイズの影響を取り除いて測定するためのデータ積分機能 0 ~ 9,990 s または 1 ~ 9,999 サイクル
遅延機能	周波数変更後、測定開始までの時間を遅延 0 ~ 9,990 s または 0 ~ 9,999 サイクル

測定開始遅延機能	スイープまたはスポット測定先頭のみ測定開始までの時間を遅延する機能 0 ~ 9,990 s または 0 ~ 9,999 サイクル
自動積分機能	ノイズによる測定変動分が、設定した値以下になるまで積分を繰り返す機能 変動分設定: FIX, SHORT, MED, LONG
振幅圧縮機能	被測定系の飽和、破損を防ぐため、被測定系の振幅が一定になるように発振器出力を自動調整する機能 目標振幅設定: 1 μV ~ 600 Vrms 発振器出力電圧の電圧制限: 1 mV ~ 10 Vpk 許容誤差設定: 1 ~ 100 % 最大リトライ回数: 1 ~ 9,999 補正率: 1 ~ 100 %
自動高密度スイープ	測定データが大幅に変化するとき、自動的にその前後区間のスイープ密度を上げて測定する機能 変化幅の設定範囲 a, b, R: 0 ~ 600 Vrms dBR: 0 ~ 1000 dB 位相: 0 ~ 180°
シーケンス測定機能	測定条件のメモリ内容に従って測定を行う機能 ・ UP SWEEP メモリ番号 1 の設定条件で、次にメモリ番号 2 の設定条件で上限メモリ番号まで連続してアップスイープ測定を行う ・ DOWN SWEEP 最初に上限メモリ番号の設定条件で、次に [上限メモリ番号 - 1] の設定条件で、メモリ番号 1 まで連続してダウンスイープ測定を行う 上限メモリ番号設定範囲 1 ~ 20

▼ 分析処理部

表示単位	ゲイン (比、無名数) / インピーダンス 切り換え			
測定精度	測定精度 = 相対精度 + 校正精度 相対精度 = ± ( 基本精度  +  ダイナミック精度  +  レンジ間精度 × N ) 校正精度: 外部に接続されるシャント抵抗、プローブ、校正用標準器などの精度			
固定レンジ	基本精度 上段: ゲイン (比)、中段: インピーダンス Z、下段: 位相			
	測定レンジ (rms)	周波数		
600 V	≤ 100 kHz	≤ 200 kHz	≤ 1 MHz	≤ 2 MHz
	±0.2 dB ±2.4 % ±1.2°	—	—	—
300 V	±0.1 dB ±1.2 % ±0.6°		—	—
	±0.05 dB ±0.58 % ±0.3°		—	—
100 V	±0.01 dB ±0.12 % ±0.06°		±0.025 dB ±0.29 % ±0.15°	±0.1 dB ±1.2 % ±0.6°
	±0.2 dB ±2.4 % ±1.2°		±0.5 dB ±5.9 % ±3.0°	—
10 V 30 mV	測定レンジ (rms)			周波数
10 V 30 mV	≤ 5 MHz	≤ 15 MHz		
	±0.2 dB ±2.4 % ±1.2°	±0.5 dB ±5.9 % ±3.0°		
条件: ・積分 30 サイクル以上 ・両チャンネルとも固定レンジ、両チャンネル同一レンジ ・両チャンネルともレンジフルスケール信号入力時のゲイン・Z・位相の誤差 ※表中の "—" は、測定不可または精度仕様がありません。				

固定レンジ	ダイナミック精度 (抜粋) ゲイン (比) / インピーダンス Z / 位相 100 kHz 以下 かつ 300 mV ~ 600 V レンジ: ±0.1 dB / ±1.2 % / ±0.6° 15 MHz 以下 かつ 100 mV ~ 10V レンジ: ±0.5 dB / ±6.0 % / ±3.0° 条件: ・積分 30 サイクル以上 ・両チャンネルとも固定レンジ、両チャンネル同一レンジ ・両チャンネルの入力信号レベルの関係が 1:1 または 1:0.1 のとき、入力信号レベルが大きい方のチャンネルのレンジフルスケールからレンジの 1/10 まで変動したときのチャンネル間のゲイン・Z・位相の変動分			
	レンジ間精度 (抜粋) ゲイン (比) / インピーダンス Z / 位相 100 kHz 以下 かつ 300 V レンジ以下: ±0.05 dB / ±0.58 % / ±0.3° 15 MHz 以下 かつ 10 V レンジ以下: ±0.05 dB / ±0.58 % / ±0.3° 100 kHz 以下 かつ 600 V レンジ: ±0.1 dB / ±1.2 % / ±0.6° 条件: ・積分 30 サイクル以上 ・両チャンネルとも固定レンジ ・両チャンネルの測定レンジが 1 つ異なり、入力信号レベルは両チャンネル同じ (小さい方のレンジのフルスケールレベル) ときのゲイン・Z・位相の誤差			
オートレンジ	測定精度 = 相対精度 + 校正精度 相対精度 = ± ( 基本精度  +  ダイナミック精度 ) 校正精度: 外部に接続されるシャント抵抗、プローブ、校正用標準器などの精度			
	信号レベル (rms)	周波数		
7 V	≤ 100 kHz	≤ 200 kHz	≤ 1 MHz	≤ 2 MHz
	±0.02 dB ±0.24 % ±0.12°	±0.02 dB ±0.24 % ±0.12°	±0.05 dB ±0.58 % ±0.3°	±0.1 dB ±1.2 % ±0.6°
7 V	信号レベル (rms)			周波数
7 V	≤ 5 MHz	≤ 15 MHz		
	±0.2 dB ±2.4 % ±1.2°	±0.5 dB ±5.9 % ±3.0°		
条件: ・積分 30 サイクル以上 ・両チャンネルともオートレンジ ・両チャンネルの入力信号レベルが同じ大きさのときのゲイン・Z・位相の誤差				
ダイナミック精度 (抜粋) ゲイン (比) / インピーダンス Z / 位相 100 kHz 以下 かつ 信号レベルが 30 Vrms ~ 600 Vrms の時: ±0.1 dB / ±1.2 % / ±0.6° 15 MHz 以下 かつ 信号レベルが 100 mVrms ~ 20 Vrms の時: ±0.5 dB / ±6.0 % / ±3.0° 条件: ・積分 30 サイクル以上 ・両チャンネルともオートレンジ ・両チャンネルの入力信号レベルの関係が 1:1 または 1:0.1 のとき、大きい方のチャンネルの入力信号レベルが 7 Vrms を基準として、上記の範囲内で変化したときのチャンネル間のゲイン・Z・位相の変動分				
誤差補正機能 (キャリブレーション)	内部で生じる時差を自己測定し補正する機能			

▼ ゲイン測定

分析モード	比: CH1 / CH2, CH2 / CH1 振幅: CH1, CH2
グラフの種類	ボード線図、ナイキスト線図、ニコルス線図
測定データ項目	dBR (ゲイン dB)、θ (位相)、GD (群遅延)、R (ゲイン絶対値/振幅)、a (ゲイン実部/振幅実部)、b (ゲイン虚部/振幅虚部)
補正機能 (イコライズ)	センサやケーブルなどの測定系の周波数特性を補正

▼ インピーダンス測定

測定方法	CH1 の測定値の振幅を電圧量、CH2 の測定値の振幅を電流量として測定
分析モード	インピーダンス CH1 / CH2 アドミタンス CH2 / CH1 電圧 CH1 電流 CH2

グラフの種類	ボード線図、ナイキスト線図、コールコールプロット
測定データ項目	Z (インピーダンスの大きさ) R, X (レジスタンス、リアクタンス) Y (アドミタンスの大きさ) G, B (コンダクタンス、サセプタンス) Ls, Lp (インダクタンス) Cs, Cp (キャパシタンス) Rs, Rp (レジスタンス) V (電圧) I (電流) θ (位相) D (損失率) Q (品質係数)
補正機能	オープン補正 ショート補正 ロード補正 ロード校正値: 最大 10 点の周波数での校正値を入力ポート延長 2 端子測定時のケーブルによる位相遅れの誤差を補正 電圧勾配除去 信号に重畳している DC レベルが、時間とともに直線的に変化している場合、その DC レベルの影響を受けずに分析する機能 (充放電中の電池のインピーダンス測定時に使用)

▼ 表示部

表示器	8.4 インチカラー TFT-LCD (SVGA) タッチパネル付き
グラフ表示スタイル	SINGLE: 画面に 1 つのグラフを表示 SPLIT: 画面に 2 つのグラフを上下に表示
データトレース	参照データトレース (REF) 測定データトレース (MEAS)
オートスケール機能	グラフの表示スケールを自動的に最適に設定 オン/オフ可
マーカ表示	メインマーカ、デルタマーカ
マーカサーチ機能	検索項目 Max, Min: 最大値, 最小値 Peak, Bottom: ピーク (極大値), ボトム (極小値) Next Peak: 次のピーク Next Bottom: 次のボトム Value: マーカ値 ΔValue: デルタマーカとメインマーカの差 X Value: 周波数 ※スイープ測定終了時に自動サーチ可能

▼ データメモリ

測定データ (MEAS)	スイープ測定したデータ、最大 20 データを内部メモリ保存可能
参照データ (REF)	測定データ (MEAS) と一緒に表示可能なデータ 測定データまたは USB メモリからコピー可 表示オン/オフ可
誤差補正データ	オープン補正データ、ショート補正データ、ロード補正データ、イコライズデータ
測定条件データ	20 組
データ保持	内部ストレージに保存していない測定データを除き、電源をオフしても保持

▼ 外部記憶

媒体	USB メモリ
コネクタ	正面パネル、USB-A コネクタ
ファイルフォーマット	FAT
画面イメージ	MS Windows ビットマップファイル (拡張子 .BMP 画面サイズ 800×600)



ゲイン・フェーズ分析器 FRA51602

- 測定周波数 10  $\mu$ Hz ~ 2 MHz
- 振幅精度  $\pm 0.01$  dB、位相精度  $\pm 0.06^\circ$
- ダイナミックレンジ 140 dB
- アイソレーション / 入力電圧 600 V CATII / 300 V CATIII
- 最大測定電圧 600 Vrms



周波数特性分析器 FRA5087/FRA5097

- 測定周波数 FRA5087 : 0.1 mHz ~ 10 MHz  
FRA5097 : 0.1 mHz ~ 15 MHz
- 振幅精度  $\pm 0.05$  dB、位相精度  $\pm 0.3^\circ$
- ダイナミックレンジ 140 dB ● アイソレーション電圧 250 Vrms
- インピーダンス表示機能 (FRA5087 はオプション)



周波数特性分析器 FRA5022

- 測定周波数 0.1 mHz ~ 100 kHz
- 振幅精度  $\pm 0.05$  dB、位相精度  $\pm 0.3^\circ$
- ダイナミックレンジ 120 dB ● アイソレーション電圧 42 Vpk
- 薄型筐体 (2U)



サーボアナライザ FRA5014

- 測定周波数 0.1 mHz ~ 100 kHz
- 振幅精度  $\pm 0.05$  dB、位相精度  $\pm 0.3^\circ$
- ダイナミックレンジ 120 dB ● アイソレーション電圧 42 Vpk
- 4 チャンネル ● リモートコントロール ● 組込み用薄型筐体 (2U)

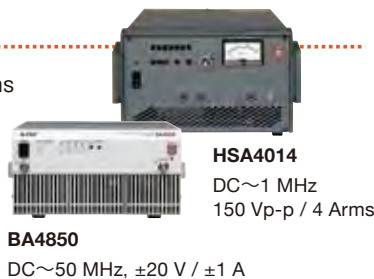
バイポーラ電源

FRA の発振器出力を増幅し、高電圧や大電流など実際の動作条件をシミュレート。各種電子部品・材料のインピーダンス測定に。

HSAシリーズ / BAシリーズ

高速バイポーラ電源

- 最大 300 Vp-p、最大 4 Arms
- DC~最高 50 MHz
- 4 象限動作
- 低出力インピーダンス
- HSA シリーズ 6 モデル  
BA シリーズ 2 モデル



**HSA4014**  
DC~1 MHz  
150 Vp-p / 4 Arms

**BA4850**  
DC~50 MHz,  $\pm 20$  V /  $\pm 1$  A

BPシリーズ

バイポーラ電源

- 高電圧  $\pm 60$  V
- DC~150 kHz
- 大電流  $\pm 10$  A (BP4610) ~ 最大  $\pm 100$  A
- 定電圧 / 定電流動作
- 電圧・電流 4 象限動作



**BP4610**  
DC~150 kHz,  $\pm 60$  V /  $\pm 10$  A  
CV/CC

※このカタログの記載内容は、2017年8月22日現在のものです。  
●お断りなく外観・仕様の一部を変更することがあります。  
●ご購入に際しては、最新の仕様・価格・納期をご確認ください。  
●記載されている会社名・製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

なんでも  
**計測HOTLINE**  
☎ 0120-545838

いいヒント、アドバイスあります。  
受付時間 9:30~17:30 (土・日・祝日を除く)



株式会社 エヌエフ回路設計ブロック

本社/横浜市港北区綱島東6-3-20 〒223-8508  
営業 ☎(045) 545-8111 ㊟(045) 545-8191  
仙 台 022(722)8163 / 関 東 03(5957)2108  
東 京 03(5957)2246 / 名古屋 052(777)3571  
大 阪 072(623)5341 / 広 島 082(503)5311  
福 岡 092(411)1801 / デバイス 045(545)8161

■取扱代理店■

<http://www.nfcorp.co.jp/>